

## コンサル・一般委託業務の最低制限価格の算出方法について

最低制限価格の算出方法は次のとおりです。

### 最低制限価格

『入札金額の低い方から6割の数の入札金額の平均額に90%を乗じた金額』

### 最低制限価格の算出と失格の判定

- ① 有効な入札<sup>※1</sup>を行った者の6割<sup>※2</sup>を求め、これを「算定数」とする。
- ② 入札金額の低いほうから順に、算定数分の入札金額の平均額<sup>※3</sup>を求める。
- ③ ②で得た金額に90%を乗じる<sup>※4</sup>。
- ④ ③で得た金額をその業務の最低制限価格とし、この金額を下回った入札は失格とする。

※1 法令、規則及び公告で定める無効要件に該当しない入札、予定価格を超えない入札をいいます。

※2 小数点以下の端数が生じたときは、切り上げます。なお、有効な入札が7者に満たないときは5者、また5者に満たないときは全入札者とします。

※3・※4

計算の結果生じた1円未満の端数は、それぞれ切り捨てます。

算出例は次ページをご覧ください。

## 算 出 例

●入札者全員が有効な入札をしたものとします

入札者	〇〇委託業務	△△委託業務	××委託業務
A社	3,000,000 円	2,000,000 円	1,400,000 円
B社	3,100,000 円	2,050,000 円	1,426,000 円
C社	3,200,000 円	2,500,000 円	1,501,500 円
D社	3,300,000 円	2,800,000 円	1,700,000 円
E社	4,000,000 円	3,100,000 円	1,800,000 円
F社	4,100,000 円	3,300,000 円	1,850,000 円
G社	4,200,000 円	3,300,000 円	/
H社	4,300,000 円	3,400,000 円	
I社	4,400,000 円		
J社	4,500,000 円		
算定数	入札参加者 10 者 $10 \times 0.6 = \underline{6}$	入札参加者 8 者 $8 \times 0.6 = 4.8 \div \underline{5}$ (端数切上げ)	入札参加者 6 者 <u>5</u> (7 者に満たないため)
平均額	6 者の合計 $20,700,000 \text{ 円} \div 6$ = <b>3,450,000 円</b>	5 者の合計 $12,450,000 \text{ 円} \div 5$ = <b>2,490,000 円</b>	5 者の合計 $7,827,500 \text{ 円} \div 5$ = <b>1,565,500 円</b>
最低制限 価格	$3,450,000 \text{ 円} \times 90\%$ = <b>3,105,000 円</b>	$2,490,000 \text{ 円} \times 90\%$ = <b>2,241,000 円</b>	$1,565,500 \text{ 円} \times 90\%$ = <b>1,408,950 円</b>
失格者	A社、B社	A社、B社	A社
落札者	<b>C社</b>	<b>C社</b>	<b>B社</b>